

令和4年度 外部人材活用・地域人材育成事業 (地域の持続的発展のための中小商業者等の機能活性化事業)

事業概要

中小企業庁 商業課
地域経済産業グループ 中心市街地活性化室

地域の持続的発展のための中小商業者等の機能活性化事業

令和4年度予算額 4.6億円（5.5億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 中小小売・サービス業者（中小商業者等）は、商店街等として集積することで、商業機能の提供やコミュニティの中心となるなど、地域の持続的発展に欠くことのできない重要な存在です。
- 近年の人口減少や電子商取引の台頭など、地域経済の構造変化に伴い、商店街等は地域における雇用や生活関連サービスなど生活に不可欠な機能の維持・確保を担う主体としての期待が高まっています。
- このため、中小商業者等のグループが、商店街等において、来街者の消費動向や需要の変化を踏まえ、需要に応じた最適な供給体制（テナントミックス）の実現を目指す取組を地方公共団体が支援する場合に、国がその費用の一部を補助します。
- また、取組にあたって、地方公共団体の創業支援事業や、地域金融機関との連携を促すことにより、中小商業者等のグループが地域の新たなニーズに対応する取組を後押しし、地域の持続的発展を促進します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

（1）地域商業機能複合化推進事業

【ソフト事業】デジタルツールの活用やチャレンジショップの実施
AIカメラ等の導入による来街者の属性・回遊情報の収集・分析や、空き店舗等を活用したチャレンジショップの実施による消費者ニーズの把握等、テナントミックスの実現に繋がる情報の収集・分析に係る取組を支援します。

【ハード事業】新たな需要を創出する施設の整備

最適なテナントミックスを実現するため、来街者の属性や消費動向等の分析を踏まえ、エリア全体への波及効果をもたらす魅力的な施設の整備を行う取組を支援します。

※テナントミックスとは、商業集積活性化を図るために最適なテナント（業種業態）の組み合わせを意味しており、本事業では、地域の新たなニーズや需要に対応した最適な供給体制を面向的に構築すること。

【商店街等に新たな需要を創出する施設等を整備した事例（油津商店街：宮崎県日南市）】



創業拠点



多目的利用スペース



働く場の誘致

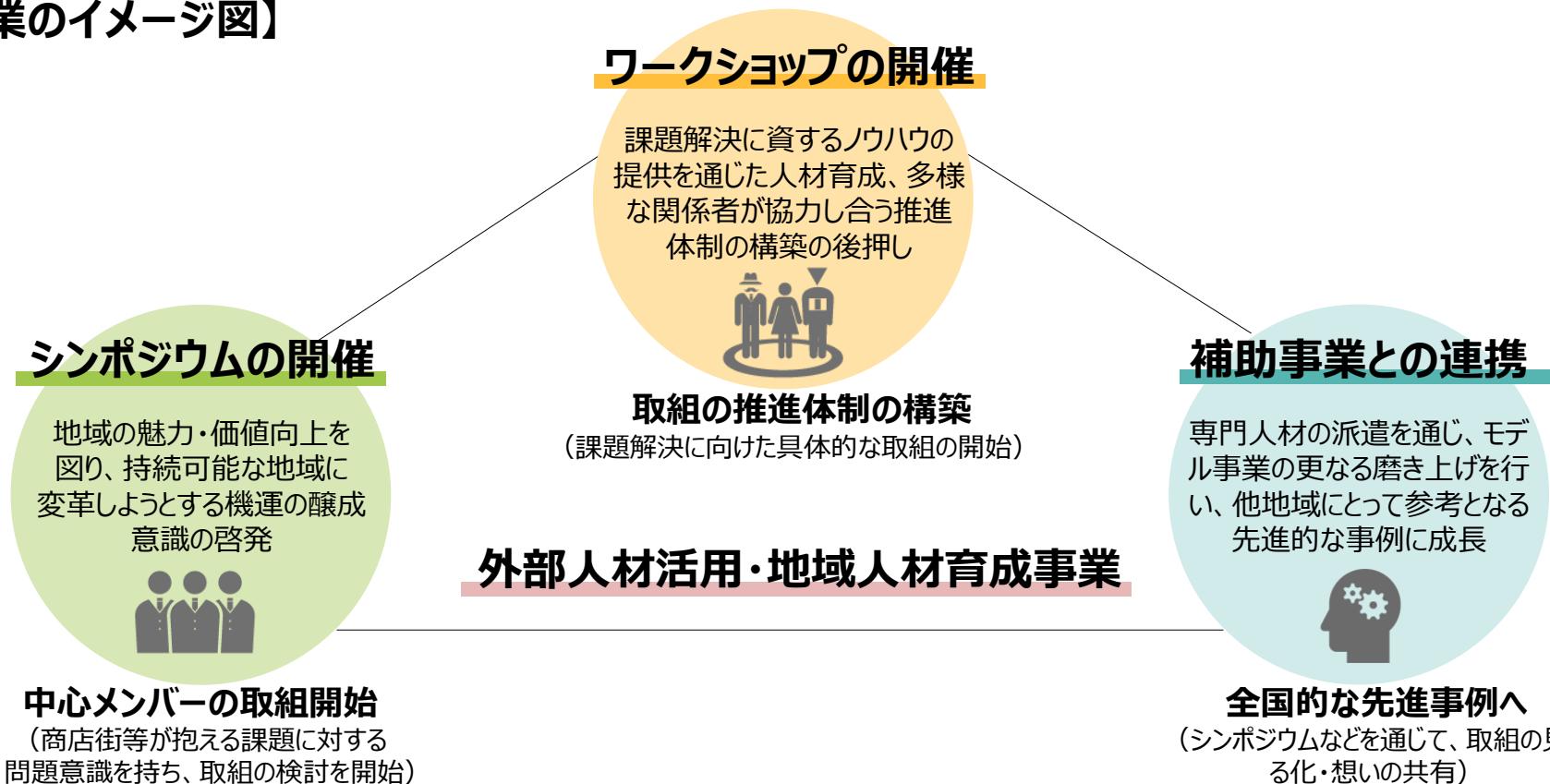
（2）外部人材活用・地域人材育成事業

地域に外部の専門人材を派遣し、テナントミックスの実現に向けた推進体制の構築や計画策定等を後押しするワークショップ等の伴走支援を実施するとともに、当該取組の全国への横展開を促進します。1

本事業の概要（全体像）

- 本事業では、商店街等が抱える課題の深掘り・特定から事業化に至るまでの課題解決のノウハウを身に付けるワークショップ、他地域にとって参考になる先進的なモデル事例に対する事業の磨き上げを行う専門人材の派遣、先進事例からの学びや先進地で活躍する方々の想いを共有するシンポジウムを実施する。
- これらの取組を通じて、地域で活躍する人材を育成しつつ、多様な関係者を巻き込んだ推進体制づくりを支援することで、新たな価値を生み出した個性的で多様性のある商店街づくりを促し、地域の持続可能な発展に向けた取組を後押しすることを目的とする。

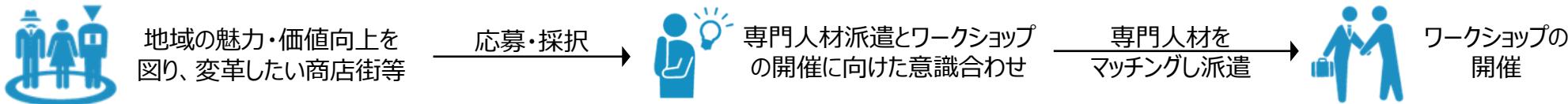
【本事業のイメージ図】



1. ワークショップの開催

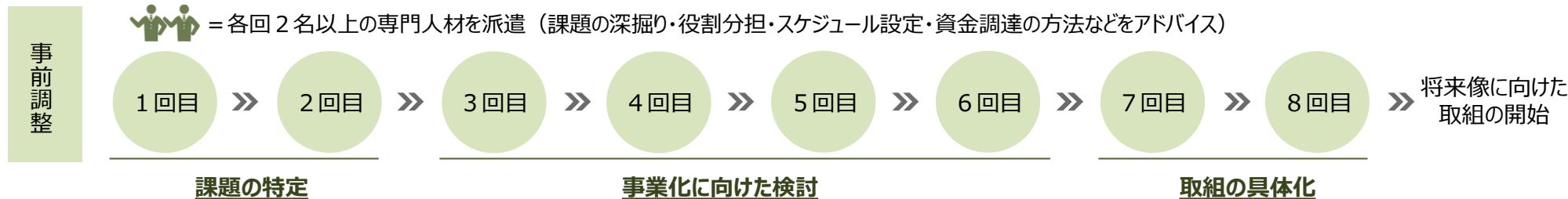
- 地域の魅力・価値向上を図り、持続可能な地域に変革したいという想いを持つ商店街等を対象に、専門人材を派遣し、商店街等が抱える課題の解決に向けたワークショップを開催する（15地域以上）。
- 地域の商店街等が抱える課題を解決し、当該地域の魅力・価値向上を図り、持続可能な地域に変革したいという想いを持つ商店街等を対象に、専門家を派遣してワークショップを開催し、専門家とともに伴走支援しながら、課題解決に向けた取組を支援します。

①開催地域の募集・開催地域との事前調整



②ワークショップの開催

ワークショップの開催イメージ（例）



- ✓ ワークショップの開催回数は、開催地域が掲げる課題やその取組の熟度に応じて、1地域4～8回の間で調整。
- ✓ 議題や進め方、派遣する専門人材などについても、開催地域が抱える課題やその取組の熟度に応じて、柔軟に変更しながら進行。

専門人材の候補者、専門人材のマッチングの方法、ワークショップの進め方などについて、積極的にご提案ください。

2. 地域商業機能複合化推進事業（補助事業）との連携

- 中小企業庁の補助事業である「令和4年度 地域商業機能複合化推進事業（以下、補助事業という。）」で採択された事業（以下、モデル事業といふ。）に対し専門人材を派遣する。
- 巻き込むべきプレイヤー・団体の掘り起こし、事業の効果測定、PDCAサイクル構築に向けた中期的な計画の見直し、広報など、当該モデル事業の更なる磨き上げができるよう助言等を行い、他地域にとって参考となる先進的なモデル事例となるための後押しを行う。

事業イメージ

（1）地域商業機能複合化推進事業

【ソフト事業】デジタルツールの活用やチャレンジショップの実施

AIカメラ等の導入による来街者の属性・回遊情報の収集・分析や、空き店舗等を活用したチャレンジショップの実施による消費者ニーズの把握等、テナントミックスの実現に繋がる情報の収集・分析に係る取組を支援します。

【ハード事業】新たな需要を創出する施設の整備

最適なテナントミックスを実現するため、来街者の属性や消費動向等の分析を踏まえ、エリア全体への波及効果をもたらす魅力的な施設の整備を行う取組を支援します。

※テナントミックスとは、商業集積活性化を図るために最適なテナント（業種業態）の組み合わせを意味しており、本事業では、地域の新たなニーズや需要に対応した最適な供給体制を面的に構築すること。

【商店街等に新たな需要を創出する施設等を整備した事例（油津商店街：宮崎県日南市）】



創業拠点



多目的利用スペース



働く場の誘致

（2）外部人材活用・地域人材育成事業

地域に外部の専門人材を派遣し、テナントミックスの実現に向けた推進体制の構築や計画策定等を後押しするワークショップ等の伴走支援を実施するとともに、当該取組の全国への横展開を促進します。

補助事業のモデル事業

専門人材の派遣

委託事業

基本項目（主なもの）

- 専門人材を派遣する地域数：20件程度（採択件数による）
- 派遣回数・人数：1回×1名（モデル事業ごと）
- 派遣時期：モデル事業の事業者希望に応じること

ご提案いただきたい事項

○専門人材のマッチング

事業を推進するに当たって抱えている課題などの聞き取りを行い、当該モデル事業の実施効果を高める観点から必要なノウハウを有する専門人材を選定いただきます。
専門人材の候補者、専門人材のマッチングの方法などについて、ご提案ください。

参考：令和3年度の補助事業における公募スケジュール・採択数（実績）

1次募集

公募期間：令和3年3月25日～令和3年4月28日
採択件数：8件（令和3年5月28日公表）

2次募集

公募期間：令和3年6月28日～令和3年7月21日
採択件数：4件（令和3年8月13日公表）

3次募集

公募期間：令和3年8月13日～令和3年9月3日
採択件数：2件（令和3年9月24日公表）

3. シンポジウムの開催

- 商店街や中心市街地などでパイオニアとして活躍している方々に、令和における商店街像を探りつつ、商店街・地域の未来を議論していただくシンポジウムを開催する。
- 先進事例の横展開や先進地で活躍する方々の想いを共有することで、地域の魅力・価値向上を図り、持続可能な地域に変革しようとする機運の醸成、意識の啓発を図る。

基本項目（主なもの）

ii. 開催時期

8月・10月・1月にて各1回

iii. 開催方法

現地及びオンライン参加を併用したハイブリッド方式にて開催すること。

ご提案いただきたい事項

- 開催場所（地方創生・地域活性化の観点から、全国で3カ所）
- シンポジウムの名称（本事業及びシンポジウム開催の目的に合致した名称）
- 各回のテーマ（本事業及びシンポジウム開催の目的に合致したテーマ）
- 登壇者（本事業の目的やシンポジウム各回のテーマに合致した人材を各3～4名）
- 各種広報（多様な関係者がシンポジウムに参加者いただけるよう工夫）

■参考：令和3年度の開催実績（予定を含む）

開催地	開催日時	テーマ
札幌市	令和4年2月7日（月） 14:00～16:30	商店街のリーダーとチームづくり －未来への結果をつくる地域、チームに必要な要件とは－
仙台市	令和4年2月14日（月） 14:00～16:30	商店街の挑戦を促す新たな金流 －クラウドファンディングから民間投資まで－
さいたま市	令和4年2月18日（金） 14:00～16:30	地域の社会課題に向き合う商店街 －商店の集まる街から生活を支える街へ－
名古屋市	令和4年2月5日（土） 14:00～16:30	地域におけるデジタルマーケティングの推進 －デジタルデータを活かしたまちづくり－
大阪市	令和4年2月16日（水） 14:00～16:15	商店街発の地域ブランドの構築 －地域資源の発掘から活用まで－
広島市	令和4年2月22日（火） 14:00～16:30	エリア一体での最適なテナントミックスの実現 －地域のニーズや需要にあつた商店街づくり－
高松市	令和4年3月1日（火） 13:30～16:00（受付13:00～）	リノベーションを用いたまちづくりの未来 －商店街における新たな価値や個性の創出－
福岡市	令和4年2月23日（水） 14:00～16:15	地域コミュニティを支える「場」としての商店街 －自分ゴト化するまちづくり－

■参考：令和3年度の広報チラシ（四国開催分）

**令和を切り拓く、
地域の持続可能な発展を考える
シンポジウム**

～新たな価値を創造し、まちの未来を導く商店街～

四国版 リノベーションを用いたまちづくりの未来
～商店街における新たな価値や個性の創出～

少子高齢化や人口減少が課題。近年、商店街では、老若者の不足や施設の空きなどがあり、空き店舗や未利用地の増加が増えています。空き店舗をはじめとする既存ストックを活用した取組は、少しずつ広がっていますが、より有効的な取組が求められています。

この取組などを元に開催するシンポジウムとして、地域全体でリノベーションの第一歩を踏み出すことを目的に、新しい生き残り方を模索するための会議やセミナー、ワークショップなどを実施します。

今後の開催は、新たな価値を創造し、まちの未来を導くための取組として、地域全体でリノベーションの第一歩を踏み出すことで、若い世代や商店街人の力が詰まった活動として事業も活きてきます。

シンポジウムでは、商店街における既存ストックを活用する方法や、リノベーションを用いたまちづくりの工夫あるべき姿に取り組みます。空き店舗や古民家などの有効な活用法を検討する会場、リノベーション実例紹介、Q&Aセッションなどを実施します。

参考資料 リノベーションを用いたまちづくりの未来
～商店街における新たな価値や個性の創出～

渡邉享子氏 1978年生まれ。東京農業大学在学中に2011年に横浜本店を設立し、店舗兼石井石鹼由来ボランティア活動を行う。その後、静岡県掛川市に移住。2013年に掛川市役所を設立。2015年に横浜本店を閉鎖。2017年に横浜本店をFC化する。2020年には横浜本店を設立。代表取締役社長。

桃谷由香里氏 1978年生まれ。日本経済大学(専修・経営)卒業後、2012年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2017年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2018年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2019年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2020年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。

西村浩氏 1978年生まれ。横浜市立大学(専修・経営)卒業後、2012年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2017年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2018年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2019年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2020年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。

青木純氏 カタツメグリの里で地域活性化の仕組みで新しい市場を創造し、経済産業省「平成26年度新規リフォーム事業者登録」を受賞。大学卒業後、地元にて就職するも、異なる業界で働くことになり、商品の企画・販売・販路開拓の立場で就職。その後、2013年に横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2014年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2015年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2016年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2017年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2018年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2019年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。2020年より横浜市役所にて、政策立案・実施・評議会等の業務に従事。

オンライン登録URL: <https://www.eventpro.jp/machi-jinsei/>

QRコード